

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2017年10月3日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2017年10月3日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【サブドレンピット(地下水くみあげ用井戸)水位計設定の誤りについて】 1～4号機周辺に設置している6箇所のサブドレンピットにおいて水位計設定に誤りがあった。そのうち1箇所のサブドレンピット水位について1～4号機建屋内汚染水位を下回っている状態を8回確認した。	G I
2	【5号機非常用ディーゼル発電機(B)各機器の点検期限の延長について】 5号機非常用ディーゼル発電機各機器は、計画に定める期間内での点検期限を逸脱することから、当該設備の技術検討を行い点検期限を延長する。	G III
3	【多核種除去設備(C)塩化第二鉄供給ポンプ流量計指示不良について】 多核種除去設備(C)塩化第二鉄供給ポンプ流量計の指示不良を確認した。	G III